

[資料] 1894年庄内地震の西郷村役場事務綴に記された被害について

秋田大学 地方創生センター* 水田 敏彦

鏡味 洋史†

Damage due to the 1894 Shonai Earthquake Denoted in Archived Documents in the Former Nishigo Village

Toshihiko MIZUTA

Center for Regional Revitalization in Research and Education, Akita University,
Tegata Gakuen-machi 1-1, Akita, 010-8502 Japan

Hiroshi KAGAMI

Ishikari, 061-3214 Japan

The 1894 Shonai Earthquake (Mj=7.0) hit the Yamagata and Akita prefectures. To restore the detailed damages and disaster responses by local governments, the authors have surveyed contemporary documents such as reconnaissance reports by local governments, newspapers and so on. They discussed on the damages in small village, former Nishigo, Yamagata prefecture, through an archived governmental report. Damages in each settlement and disaster responses by local government were described in a document.

Keywords: 1894 Shonai Earthquake, Earthquake Disaster, Literature Survey.

§ 1. はじめに

1894年(明治27年)庄内地震は山形県の北西部、庄内平野で発生したM7.0の内陸地震であり、庄内平野全域および秋田県を含む周辺地域に被害が発生した。筆者らはこの地震を取り上げ、当時の被害調査報告や郷土史料等を収集・整理し文献調査を進めており[水田・鏡味(2011)], これまで秋田県内の詳細被害分布[水田・鏡味(2012)], 山形県内の詳細被害分布[水田・鏡味(2013a, 2013b)], を明らかにしている。

文献調査は各図書館の蔵書検索から始め地震直後の学術論文に発表の被害調査報告, 地震当時に地元で発刊の単行本については国会図書館近代デジタルライブラリーに収録の文献を参照した。これと並行して, 被災の中心地である酒田, 鶴岡に出向き現地の図書館, 郷土資料館に所蔵の地震に関する史料の収集に努めた。酒田市立図書館では自筆本である『両羽庄内震災調査日誌』[関野貞(1894)]を,

また付属の光丘文庫では飽海郡役所の庄内地震に関する簿冊の原本6冊を見出した。鶴岡市立図書館の郷土資料館では庄内地震関係の史料が複数保存されているのが判明した。その中の『庄内大地震実見誌』[宥霰士(1894)]は鶴岡町に在住の著者の手書きの紀行文で, 酒田までの往復の道中の様子が記載されている。前述の関野の紀行文と合わせ, 歴史地震研究会で紹介している[水田・鏡味(2014)]。

本論では, 鶴岡市郷土資料館に所蔵の『西郷村役場震災事務綴』[西郷村役場(1894)]を紹介する。このような行政史料には被害の詳細や行政の災害対応等, 他の報告書には見られない内容が多く含まれている。

§ 2. 庄内地震の概要と西郷村

2.1 庄内地震の概要

本地震の諸元は『日本被害地震総覧』[宇佐美ほか(2013)]によれば, 発震時1894年10月22日17時

* 〒010-8502 秋田市手形学園町1-1
電子メール: tmizu@gipc.akita-u.ac.jp

† 〒061-3214 北海道石狩市在住
電子メール: ve3iv6@bma.biglobe.ne.jp

35 分, 庄内平野, $\lambda=139.9^{\circ}$ E, $\phi=38.9^{\circ}$ N, M=7.0 である. 山形県の郡別被害一覧が掲げられており, この地震による山形県の被害は死者 726, 負傷者 987, 全潰 3858, 全焼 2148 等となっている.

図 1 に[水田・鏡味(2013b)]で求めた被害から作成した震度分布図を示す. 図には『日本被害地震総覧』[宇佐美ほか(2013)]による震央と主な河川の流路も示した. 震度 7 については, 全潰率 30%~50%を●, 全潰率 50%~80%を◆, 全潰率 80%以上を■に分けて示している. 被害は地盤の軟弱な最上川下流部兩岸の低平地に集中し, 壊滅的な被害を受けた集落も多かった. 死者はアンダーラインをつけた町村で発生しており, 全潰率が大きくなるほど人的被害発生の割合が高くなっている.

西郷村については, 図 1 に村界を実線, その他の町村界を破線で示している. 西郷村は被害が比較的少ない庄内平野の南西部に位置し, 「山形県西田川郡震災被害調査表」[大森(1895)]によれば, 人的被害はなく全潰 1, 半潰 10, 破壊 68 等となっている.



図 1 1894 年庄内地震の被害分布と西郷村

Fig. 1. Damage distribution of the 1894 Shonai earthquake and the location of Former Nishigo village.

2.2 西郷村の沿革

西郷村は 1889 年(明治 22 年)の町村制施行で下川村, 馬町村, 長崎村, 辻興屋村, 面野山村, 千安京田村, 西沼村, 茨新田村の 8 旧村を統合して西郷村が発足した. 1955 年(昭和 30 年)南隣の大山町と合併し大山町の一部となり, 1963 年(昭和 38 年)鶴岡市に編入され現在に至る. 図 2 に西郷村の大字を示す. 背景地図は 1913 年(大正 2 年)発行の 5 万分の 1 地形図を用いた.

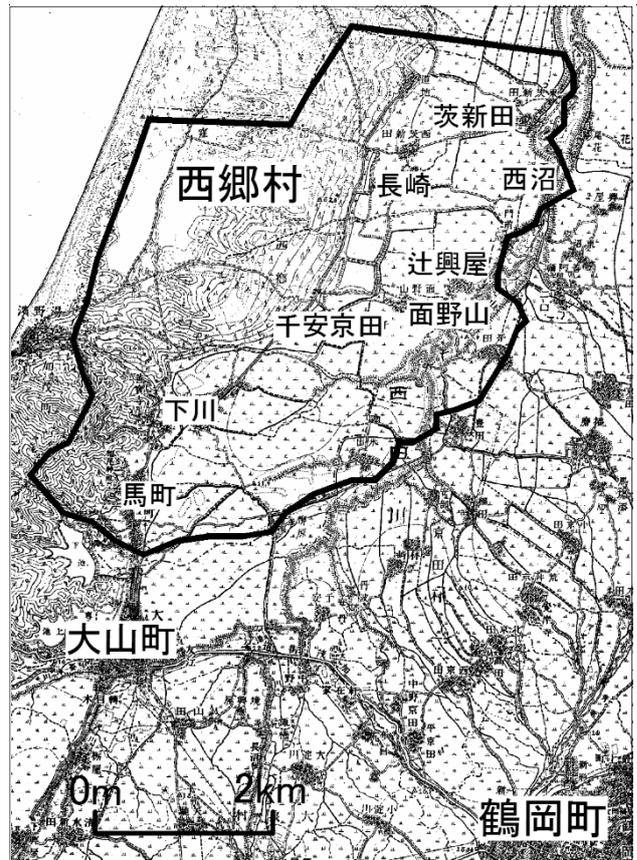


図 2 西郷村の大字

Fig. 2. Location map of settlements in the Former Nishigo village.

§ 3. 西郷村役場事務綴

鶴岡市郷土資料館に所蔵されている庄内地震関係の史料の一つ『西郷村役場震災事務綴(1894)』を取り上げる. 郷土資料館の保存袋には「震災事務綴(コピー)」とあり, 表紙には「西郷土地改良区所蔵」と記載されている. 西郷土地改良区は鶴岡市下川字前田元 15 に現存している.

筆者らは 2017 年 9 月に現地を訪れ, 原本の所在を確かめたが, 郷土資料館に移管されてから日時が

経過しており、確認できなかった。図3は西郷土地改良区の玄関の写真である。門前に西郷村役場跡の記念碑があり、1955年(昭和30年)に大山町に合併するまで、西郷村役場であったことがわかる。建物は木造二階建てで相当古いが、修復され一階部分を土地改良区の事務所として、二階部分は物置として活用されている。聞き取りによると、この建物は1883年(明治16年)に下川小学校として建設され、町村制施行の1889年(明治22年)に西郷村の役場となったものである。

『震災事務綴(1894)』は、西郷村が各大字区長から情報収集して作成した被害状況の報告書や被害統計、義捐金等を取り纏めたもので、計58ページからなる。手書きの書類であり、罫紙を二つ折りにした和綴の簿冊である。図4に表紙、本文の例を示す。目次はなく各書類に統一した表題も付けられていないので、内容を確認、一覧表を作成し表1に示す。頁も付けられていないので、複写した際の順序に従って頁数をふり、表の頁欄に示す。書類の多くは書簡の形式をとっているため、発信者・受領者を記した。西田川郡長(三淵隆衛)は郡長、西郷村村長(清水敬典)は村長と略記し、表題の付いているものは「」内に示した。また、判読不明の文字は□で示した。



図3 西郷土地改良区の写真
(2017.9.13 水田撮影)

Fig. 3. Photo of the Former Nishigo village office
(photo by T. Mizuta).

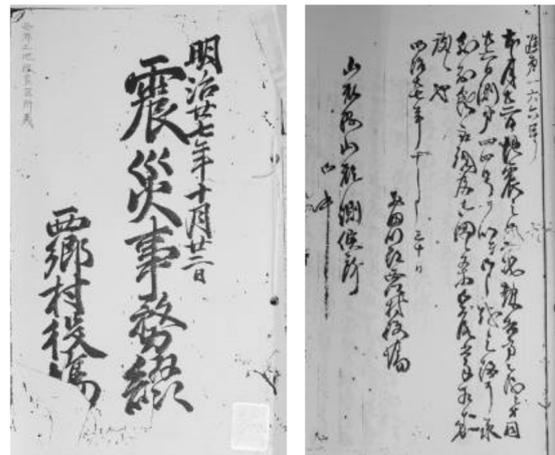


図4 西郷村役場震災事務綴の表紙および本文の例

Fig.4. Coversheet and example page of “Archived Former Nishigo village documents on earthquake disaster”.

表1 震災事務綴の目次

Table 1. Contents of “Archived Former Nishigo village documents on earthquake disaster”

日付	発信者	受領者	「表題」, 内容	頁
			明治廿七年十月廿二日 震災事務綴 西郷村役場	1
10/25	馬町 区長	村長	「西郷村大字馬町土蔵家 屋破損調」, 30 件	2
10/26	下川 惣代	村長	「大字下川破損調」, 27 件	5
10/26	千安京 田	村長	「西郷村千安京田本月廿 七日災害調」, 5 件	10
10/26	面野山	村長	「当大字破損のヶ所」, 19 件	11
10/26	辻興屋 区長	村長	「破損のヶ所」, 6 件	13
10/27	西沼 区長	村長	「大字西沼破損ヶ所調」, 10 件	14
10/26	茨新田	村長	「西郷村大字茨新田本月 廿七日地震災害調」, 9 件	16
10/26	長崎	村長	「西田川郡西郷村大字長崎 地震災害破損之箇所調」, 18 件	18
			「震災破壊調」, 字別被害 表	20
10/30	村役場	山形測 候所	9 項目の調査回答	21
10/26	山形 測候所	村役場	調査依頼	24
10/26			「西田川郡西郷村」, 食料 小屋掛料一覧	25

	村長	郡役所 第一課	同上の書状	27
11/12	郡長		「震災被害報告」, 字別	28
11/27	郡長	村役場	下賜金 4 千円の通達: 西 郷村配分額 2 円 75 銭 4 厘	31
			「恩師金分配法」, 袖浦・東 郷・西郷・大宝寺村	33
12/15	村長	郡長	損害額調査報告	33
			震災被害建物軒数及損害費 調	34
			震災恩師金及義捐金配分 調	35
1/14	第一課	村役場	同上の報告	36
1/28	佐藤惣 代外 11 名 連署		氏名別小屋掛金額	37
			「震災損害価格調西郷村」	39
	村役場	郡役所 第一課	「震災被害田畑山林原野 算調」	43
2/12	村役場	郡長	備荒儲蓄法に依り救助出 願	45
			小屋掛料氏名別一覧	46
10/26	村長	郡長	「東西田川郡飽海三郡中 震災被害困窮者救恤」	48
10/26	善寶寺 住職		震災被害困窮者に 6ヶ寺よ り 261 円	49
12/4	郡書記	村長	261 円の 3 郡への配当	50
12/7	村長	郡長	「納口證」	51
12/6	郡長	水野禅 法	領収證	51
	村長	郡長	「震災被災者義捐金配与」	52
2/15	水野禅 法	郡長	「震災被害者復興□□」	53
			「山形県震災救助義捐簿」, 表紙	55
	渡島国 福山 岩田		同上名簿: 26 名より合計 809 円 70 銭	56
12/28	第一課	村役場	下賜金御礼電報の通知	58

§ 4. 震災事務綴に記載された内容

4.1 大字別被害調査

最初の 2 頁から 20 頁にわたって, 各大字からの被害を詳細に記した報告が綴じられている。発災 3 日後(10 月 25 日)には馬町, 発災 4 日後(10 月 26 日)には下川, 千安京田, 面野山, 辻興屋, 茨新田, 長崎, 発災 5 日後(10 月 27 日)には西沼から, 家屋・土蔵の被害が報告されている。表 2 に報告内容をまとめ

て記す。各戸ごとの詳細な被害内容とともに被害額が記されている。被害の説明には「シビ(ヒビ)」, 「カタガリ(傾き)」など, 方言での記載が見られる。字別の被害一覧表(表 3)が 20 頁にまとめられている。全潰に相当する「家屋漸次潰れに至りたるもの」は西沼の 1 軒のみである。半潰は下川, 面野山, 長崎にはなく, 合計 17 棟である。破壊は全字で発生しており, 合計 57 棟が, 土蔵も全字で合計 53 棟が計上されている。

表 2 大字別の被害の報告一覧

Table 2. List of each building damage reported from each settlement

大字	番号	被害の記述	修繕費 円. 銭	頁
馬 町	1-1	蔵半通欠落	13.00	2
	1-2	家屋萱屋根 3 分通抜落	03.50	
	1-3	土蔵大シビ(ヒビ)	30.00	3
	1-4	土蔵 7 分通欠落	43.00	
	1-5	土蔵 3 分通欠落	07.00	
	1-6	土蔵四方欠落	80.00	
	1-7	土蔵 7 分通欠落	15.00	
	1-8	土蔵 5 分通欠落	13.00	
	1-9	家屋柱折落	07.00	
	1-10	土蔵 7 分通欠落	20.00	
	1-11	土蔵 5 分通欠落	07.00	
	1-12	土蔵 8 分通欠落	23.00	
	1-13	土蔵 5 分通欠落	07.00	4
	1-14	土蔵 4 方欠落	50.00	
	1-15	土蔵 4 方欠落	70.00	
	1-16	土蔵少しヒビ	15.00	
	1-17	土蔵大ヒビ	45.00	
	1-18	土蔵四方欠落	90.00	
	1-19	家屋板戸類 7 枚破損	01.50	
	1-20	家屋板□□□破損	02.00	
	1-21	家屋杉戸類 8 枚破損	04.50	
	1-22	家屋小壁杉戸類破損	03.50	
	1-23	家屋杉戸類 3 枚破損	04.50	
	1-24	永福寺土蔵大破	100.00	
	1-25	相尾神社夜燈 1 台	50.00	
	1-26	家屋小壁杉戸類破損	04.00	
	1-27	家屋杉戸類 7 枚破損	04.00	
	1-28	家屋杉戸類 5 枚破損	01.30	
	1-29	家屋小壁杉戸類破損	04.50	
	1-30	家屋大破(半潰)	(記載無)	
下 川	2-1	土蔵(3×6 間:後略)4 間壁落 外大ヒビハナレ	50.00	5
		家屋根 2 尺突下り	20.00	
		稲蔵下屋潰れ	05.00	
		(合計)	75.00	

	2-2	土蔵四方落ち	115.00	6	
		家屋根突落	10.00		
		稲蔵小屋破損	15.00		
		(合計)	140.00		
	2-3	家屋根突落	12.50		
	2-4	靱入土蔵, 四方崩落(大字下川持)	150.00		
	2-5	家根突落	10.00		
	2-6	下新山社石鳥居破損	20.00		
	2-7	土蔵半通崩落	100.00		
	2-8	家屋根突落, 小屋屋根突落	25.00		
	2-9	土蔵 2 間壁落	52.50		
	2-10	土蔵ヒビ	70.00		
		家カタガリ(カタムキ)軒先イタミ	15.00		
		小屋家根落ち	02.00		
		(合計)	87.00		
	2-11	土蔵四方壁落, 土蔵四方ヒビ, 土蔵四方ヒビ	300.00		
	2-12	土蔵四方ヒビ, ハナレ	50.00		
	2-13	家小壁落ち, 柱カタムキ	03.00		7
	2-14	土蔵四方壁落	100.00		
	2-15	土蔵 2 間壁落ちヒビ家屋根突落	110.00		
	2-16	土蔵ヒビ	50.00		
	2-17	土蔵 5 間壁落ち外大ヒビ	70.00		
	2-18	土蔵四方壁落ち	100.00		
	2-19	土蔵大ヒビ	60.00		
	2-20	土蔵ヒビハナレ	50.00		8
	2-21	土蔵 2 間壁落	70.00		
	2-22	土蔵外ヒビ	70.00		
2-23	家屋根突落	350.00			
2-24	土蔵四方壁落外ヒビ	50.00			
2-25	家屋根突落	03.50			
2-26	土蔵ヒビ	100.00			
2-27	(外)土蔵壁落ち	50.00	9		
千 安 京 田	3-1	家屋半潰	18.00	1	
	3-2	家屋大破損	15.00	0	
	3-3	土蔵壁少しヒビ	(記載無)		
	3-4	土蔵家屋庇半潰及建具破損	03.00		
	3-5	聖神社夜燈崩れ	05.00		
面 野 山	4-1	家屋少し破損	80.00	1	
	4-2	家屋大破	18.96	1	
	4-3	家屋少し破損	00.89		
	4-4	蔵家屋少し破損	01.02		
	4-5	家屋少し破損	01.12		
	4-6	家屋少し破損	00.70		
	4-7	家屋少し破損	00.20		
	4-8	家屋少し破損	00.28		
	4-9	家屋少し破損	05.41		

	4-10	家屋少し破損	02.04	6		
	4-11	家屋少し破損	00.56			
	4-12	家屋少し破損	00.84			
	4-13	家屋少し破損	00.28			
	4-14	土蔵壁少し落ち, 柱沈み, 家屋少し破損	08.68			
	4-15	家屋少し破損, 土蔵少しヒビ 土蔵庇少し破損	02.62			
	4-16	家屋少し破損	00.27			
	4-17	面野山尋常小学校壁大破	50.00			
	4-18	勢至堂夜燈 2 個破損	01.00			
	4-19	家屋少し破損	00.72			
	辻 興 野	5-1	家屋震災大破損		50.00	1
		5-2	家屋大破		50.00	3
		5-3	家屋庇及小屋全潰		40.00	
		5-4	土蔵壁ヒビ		30.00	
		5-5	土蔵壁ヒビ		20.00	
		5-6	土蔵壁落ち		60.00	
	西 沼	6-1	家屋ツブレ		15.00	1
		6-2	家屋半ツブレ		12.00	4
		6-3	家屋半ツブレ		04.00	
6-4		家屋半ツブレ	12.00			
6-5		家屋半ツブレ	05.00			
6-6		家屋半ツブレ	10.00			
6-7		家屋半ツブレ	17.00	1		
6-8		家屋半ツブレ	15.00	5		
6-9		家屋屋根突落, 土蔵壁落	15.00			
6-10		家屋半ツブレ	06.00			
茨 新 田	7-1	土蔵二つ壁落欠	45.00	1		
	7-2	土蔵壁落, 家屋大破	50.00	6		
	7-3	家屋半潰	45.00			
	7-4	美祢堂屋根落	05.00			
	7-5	土蔵壁落	45.00			
	7-6	家屋半潰	47.00			
	7-7	家屋半潰	49.00			
	7-8	家屋半潰	15.00			
	7-9	土蔵壁落	50.00			
長 崎	8-1	屋根抜け落ち	02.00	1		
	8-2	屋根抜け落ち	02.00	8		
	8-3	壁落ち建具破損, 家屋傾戸障子開閉不能等	06.00			
	8-4	家屋詰物落ち, 其他建具痛み	05.00			
	8-5	家屋傾き壁落ち戸障子破損, 板敷落ち小屋傾き屋根破損	07.00			
	8-6	家屋傾き壁落ち戸障子痛み, 二階落	06.00			
	8-7	小屋破損	01.20			
	8-8	家屋 3,4 寸傾き, 床の間壁落建具痛, 戸棚転覆膳具陶器類破損	02.20			
	8-9	壁落ち庇破損	00.40			

8-10	家屋傾き梁落ち, 戸障子開閉不能壁破損	07.00	1 9
8-11	同上	07.00	
8-12	家屋傾き板敷落ち壁破損	05.00	
8-13	家屋傾き指物落ち, 梁離れ壁落ち, 戸障子破損又は開閉不能屋根痛等	10.00	
8-14	長龍寺本堂家屋根落ち, 杉板戸破損仏壇落ち	05.00	
8-15	土蔵壁落ち柱傾斜	12.00	
8-16	家破損土蔵壁落ち柱傾き	05.00	
8-17	二階作り家破損, 柱傾き	10.00	
8-18	長崎学校破損	30.00	

4.2 山形測候所の照会

21 頁から 24 頁は山形測候所からの地震に関する照会である。発災から 4 日後(10 月 26 日)に依頼があり, 10 月 30 日に, 以下の 9 項目を回答している。

- ①鳴響については地震に先立ち, 西北方で雷鳴があったこと。
- ②初震の時刻については, 10 月 22 日 5 時 40 分, 主要動時間は凡そ 4 分, 器物が棚から落ち, 障子は倒れたり破れたり, ランプから失火の恐れがあったが消し止められた。

- ③降灰はなし。
- ④鉱水井水は, 地震後に増減温度の変化の著しいものがあった。
- ⑤前兆はなし。
- ⑥実地調査の結果, 報告すべき事項は未だなし。
- ⑦地盤陥落については数カ所。
- ⑧被害については全潰 1 戸, 半潰 17 戸, 破壊 57 戸, 土蔵の破壊 53 棟, 其他破損のもの数多しといえども, 人畜死亡者負傷者焼失家屋等なし。
- ⑨大震後の微動数回。

4.3 救助費・義捐金の配分

各種の救助費関係の書類が続く。まず 25-28 頁では食料小屋掛料について, 10 月 26 日に西田川郡役所より調査依頼があり, 西郷村長が回答している。全潰 1, 半潰 10 および破壊の内 5 軒の 16 世帯に対して, 食料, 小屋掛料が年齢別家族構成, 人員, 土地所有状況により算定され, 個人名を明記した一覧表が示されている。全潰で食料 4 円 50 銭, 小屋掛料 5 円などとなり, 総計食料 82 円 20 銭, 小屋掛料 50 円となっている。11 月 12 日には西田川郡長へ, 字ごとの被害報告がなされており, 記述から字別の被害件数を一覧表にして表 4 に示す(28-31 頁)。

表 3 大字別の被害一覧
Table 3. Summary of building damage by settlements

大字名	馬町	下川	千安 京田	面野山	辻興屋	西沼	茨新田	長崎	合計件数 金額 円
家屋漸次潰れに至りたるもの	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	0	0	0	0	0	15	0	0	15
家屋半潰れもの	1	0	2	0	2	8	4	0	17
	10	0	33	0	100	75	96	0	314
家屋半潰れに ^つ 垂ぐ破壊もの	11	11	1	17	1	1	1	14	57
	34.3	90.5	13	34.07	40	6	40	69.6	317.47
土蔵破壊	17	22	1	2	3	1	4	1	53
	590	1745.5	5	11.28	110	15	130	15	2623.78
稲蔵の破壊	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	0	20	0	0	0	0	0	0	20
小屋廁の破壊	0	3	0	0	0	0	0	2	5
	0	16	0	0	0	0	0	4.48	20.48
学校の破壊	0	0	0	1	0	0	0	1	2
	0	0	0	50	0	0	0	30	80
寺の破壊	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	0	0	0	0	0	0	0	5	5
堂社の破壊	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	0	0	0	0	0	0	5	0	5
鳥居の破壊	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	0	20	0	0	0	0	0	0	20
夜燈の破壊	1	0	2	2	0	0	0	0	5
	1.5	0	5	1	0	0	0	0	7.5

表 4 字別建物被害一覧 (11 月 12 日)

Table 4. Summary of building damage by settlements (sum up at November 12)

大字	家屋			土蔵	学校社寺
	全潰	半潰	破壊	破壊	破壊
馬町		1	11	16	
下川			11	25	
千安京田		1	1		
面野山			16	1	1
辻興屋			5	3	
西沼	1	4	9	1	
茨新田		4	1	5	1
長崎			14	5	2
合計	1	10	68	56	4

次に、31-33 頁では下賜金 4 千円の通達が 11 月 27 日にあり、西郷村への配分額が 2 円 75 銭 4 厘としている。また、33-34 頁では、12 月 15 日現在の「震災被害建物件数及損害費調」を報告している。翌年の 1 月 14 日には、震災恩師金及義捐金の配分調べ(35-36 頁)がなされている。1 月 28 日には、11 名の小屋掛金額のリストが載せられている(37-38 頁)。

39-43 頁には、田畑、山林、原野の被害額の一覧が記されている。44 頁には、建物などの被害金額一覧が示されている。

45-47 頁には、2 月 12 日に西郷村長が西田川郡長へ提出した備荒貯蓄蓄法による救助出願願が、11 名についての一覧が示されている。



図 5 旧善宝寺駅の写真 (2017.9.13 水田撮影)

Fig. 5. Photo view of the Former Zempoji station (photo by T. Mizuta).

48-54 頁には、発災から 4 日後(10 月 26 日)、西郷村善寶寺住職が、西田川郡長へ震災被害困窮者に対して 6 名より計 261 円寄贈したことが記されてい

る。善寶寺は西郷村下川にある曹洞宗の名刹で、開基は平安時代にさかのぼる。下川は門前町として栄え、1929 年(昭和 4 年)には庄内交通湯野浜線が鶴岡から開通し、参詣用の善宝寺駅が設けられた。1975 年(昭和 50 年)に廃線となったが、現在も寺社風の駅舎が門前に現存する。図 5 に現況の写真を示す。

55 頁以降は「明治 27 年 10 月 22 日激震 山形県震災救助義捐簿」の表紙があり、義捐金の一覧が綴じられている。北海道渡島国福山(現松前町)の岩田金蔵が、漁業関係者の義捐金 809 円 70 銭をまとめている。北海道の漁場への出稼ぎとの結びつきがうかがえる。巻末の 58 頁には、下賜金御礼電報の通知が残されている。

§ 5. 各大字の被害

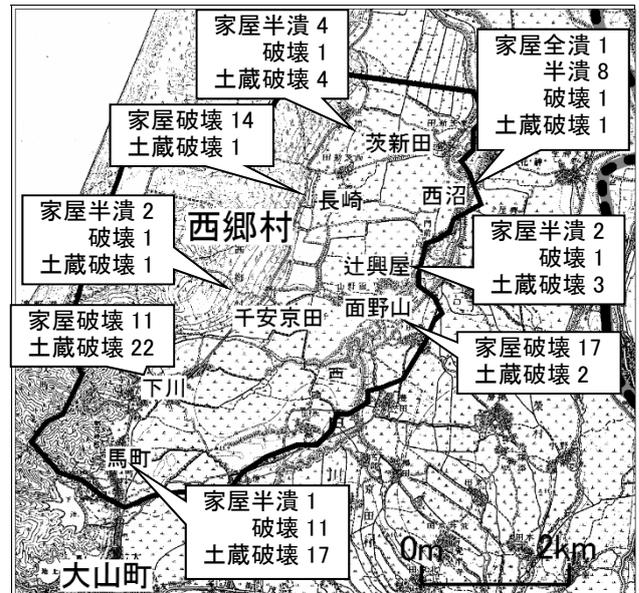


図 6 家屋と土蔵の被害

Fig. 6. Number of damaged buildings.

大字ごとに被害を眺めてみる。表 3 に示した字ごとの建物被害件数を図 6 に示す。また、図 7 は個別建物と鳥居・夜燈の被害分布である。建築物等構造物の被害を●、鳥居・夜燈の被害を▲で示す。なお、図中の数字は、表 2 の番号に対応する。筆者らは 2017 年 9 月に現地に赴き、各大字をまわり、事務綴り記載の個別の建物を探った。寺社は現存しているが、ほとんどの建物は改築されている。夜燈の一部には安政などの年号が刻まれており、地震の時に存在し、被害を受けたものと思われるものもあった(図 8)。

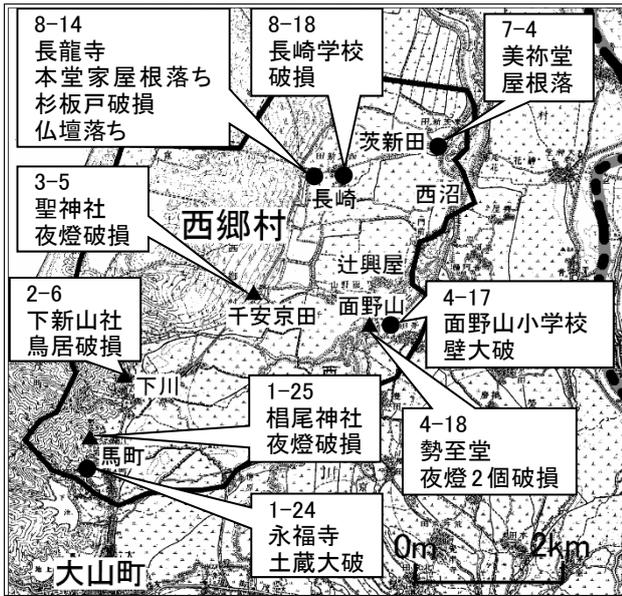


図7 個別建物とその他の被害

Fig. 7. Outlook of damage for each settlement.



図8 勢至堂の写真
(2017.9.13 水田撮影)

Fig. 8. Photo view of the Former Seishido hall
(photo by T. Mizuta).

§6. むすび

1894年(明治27年)庄内地震における『西郷村役場震災事務綴』を解説し、既往の調査報告に無い村での細かな被害や震災対応を整理した。明らかにされた主な項目は以下の通りである。

- 1)地震発生から3~5日後に各大字の区長から建物被害調査報告がなされており、棟ごとに詳細な報告がなされている。これらの情報は、村全体の被害報告の段階では、記録に残されないものである。
- 2)救助費、義捐金の配分は被害程度、被災者の属性により決定されている。村役場での主要な業務となっている。

3)地震発生より123年が経過しており、大半の建物は建て替えられているが、寺社は継承されており、地震当時の夜燈の一部は残されている。

4)北海道福山(現松前)からの義捐金がリストアップされているなど、漁業を通じての結びつきが読み取れる。

鶴岡市郷土資料館には、未だ読みこなしていない史料が残されている。今後の課題としたい。

謝辞

鶴岡市郷土資料館からは、西郷村役場震災事務綴の所在をご教示いただきました。また、査読をくださった土岐田正勝氏と編集担当の小松原琢氏から有益なご意見を頂き、本稿の内容を改善することができました。記して謝意を表します。

対象地震:1894年庄内地震

文献

- 水田敏彦・鏡味洋史, 2011, 1894.10.22 庄内地震の被害調査報告および関連史料の文献調査, 日本建築学会技術報告集, 17, 35, 407-410.
- 水田敏彦・鏡味洋史, 2012, 1894.10.22 庄内地震の秋田県における被害に関する文献調査, 日本建築学会技術報告集, 18, 38, 387-390.
- 水田敏彦・鏡味洋史, 2013a, 1894.10.22 庄内地震の飽海郡酒田町および松嶺町の町丁別被害に関する文献調査, 日本建築学会技術報告集, 19, 42, 793-796.
- 水田敏彦・鏡味洋史, 2013b, 1894.10.22 庄内地震の大字別の被害分布に関する文献調査, 日本建築学会技術報告集, 19, 43, 1235-1238.
- 水田敏彦・鏡味洋史, 2014, 1894年庄内地震の調査日誌・紀行文から読取る被害状況, 歴史地震, 29, 273.
- 西郷村役場, 1894, 震災事務綴, 和綴簿冊, 58 pp.
- 大森房吉, 1895, 明治27年10月22日庄内地震概報告, 震災予防調査会報告, 3, 79-106.
- 関野貞, 1894, 両羽庄内震災調査日誌, 自家本, 32 pp.
- 宇佐美龍夫・石井寿・今村隆正・武村雅之・松浦律子, 2013, 日本被害地震総覧, 東京大学出版会, 221-224.
- 宥叢士, 1894, 庄内大地震実見誌, 自家本, 9pp.